

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公開番号】特開 2002-355791 (P2002-355791A)

【公開日】平成 14 年 12 月 10 日 (2002.12.10)

【出願番号】特願 2001-165118 (P2001-165118)

【国際特許分類第 7 版】

B 2 6 D 5/00

【F I】

B 2 6 D 5/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 10 日 (2004.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】切抜き文字作成装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

剥離シート上にシート本体を積層したハーフカット用シートの当該シート本体に対して、切抜き対象となるキャラクタを複数含むキャラクタ列の各キャラクタをアウトラインカットする切抜き文字作成装置であって、

前記キャラクタ列の各キャラクタを貼着対象物に貼着するときの前記キャラクタ列のレイアウトの形態を、貼付対象領域の外周を示すアウトラインイメージに基づく貼着レイアウトパターンとして、複数種類記憶する貼着レイアウトパターン記憶手段と、

前記複数種類の貼着レイアウトパターンのうちの任意の 1 を選択する貼着レイアウトパターン選択手段と、

前記キャラクタ列を入力するキャラクタ入力手段と、

選択された貼着レイアウトパターンのアウトラインイメージを貼着レイアウトアウトラインとして、前記シート本体の表面に想定する貼着レイアウトアウトライン想定手段と、

想定された前記貼着レイアウトアウトライン内に、入力されたキャラクタ列の各キャラクタの配置を想定する各キャラクタ配置想定手段と、

想定された各キャラクタの配置に基づいて、各キャラクタをアウトラインカットするためのカットラインを決定する各キャラクタカットライン決定手段と、

決定された前記カットラインに従って、前記キャラクタ列の各キャラクタをアウトラインカットする個別キャラクタカットを行う個別キャラクタカット手段と、

前記キャラクタカットを行うハーフカット用シートとは別のハーフカット用シートのシート本体に対して、前記想定された貼着レイアウトアウトラインをアウトラインカットして背景として切り抜く背景カットを行う背景カット手段と、

を備えたことを特徴とする切抜き文字作成装置。

【請求項 2】

前記背景カットによって切り抜かれたシート本体上に、前記個別キャラクタカットによっ

て切り抜かれた各キャラクタを重ね合わせて貼る重ね貼り手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 3】

前記背景カット手段は、前記貼着レイアウトアウトライン内から前記キャラクタ列のネガを不要シート部として削除するキャラクタ列ネガカット手段を有し、
前記背景カットによって切り抜かれたシート本体のうちの削除された前記キャラクタ列のネガ部分に、前記個別キャラクタカットによって切り抜かれた各キャラクタのボジを埋め込むように貼る合成貼り手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 4】

前記複数種類の貼着レイアウトパターンには、外周に長方形、台形、円弧、波形、またはそれらのいずれかの一部を含む貼付対象領域を示すアウトラインイメージに基づく種類が含まれることを特徴とする、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 5】

前記複数種類の貼着レイアウトパターンには、前記キャラクタ列の切抜き文字を作成後に、前記キャラクタ列内の任意のキャラクタ間をカットして利用可能な種類が含まれることを特徴とする、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 6】

前記キャラクタ列の各キャラクタを連ねる並び方向と各キャラクタの上下方向とを一致させる縦書きまたは直交させる横書きのいずれかを選択するための縦書き横書き選択手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 7】

前記キャラクタ列の各キャラクタを連ねる並び方向を横方向とした場合の左から右に順に並べる右書きまたは右から左に並べる左書きのいずれかを選択するための右書き左書き選択手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 8】

前記キャラクタ列の各キャラクタを前記ハーフカット用シートの長手方向に連ねて並べる長手方向配置または幅方向に連ねて並べる幅方向配置のいずれかを選択するための長手方向幅方向配置選択手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 9】

入力されたキャラクタ列の鏡像のアウトラインのカットラインを、前記アウトラインカットするためのカットラインとすることを指示可能な鏡像カット指示手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 10】

前記切抜き対象となるキャラクタ列または各キャラクタの書体として、複数種類の書体のうちの任意の 1 を選択可能な書体選択手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 11】

前記切抜き対象となるキャラクタ列または各キャラクタの変形を指示可能なキャラクタ変形指示手段をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【請求項 12】

前記複数種類の貼着レイアウトパターンの選択肢を示す参照用シートまたは参照用ラベルを、前記貼着レイアウトパターン選択手段の近傍に配設または貼付したことを特徴とする、請求項 1 ないし 11 のいずれかに記載の切抜き文字作成装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ハーフカット用シートに対し切抜き対象である文字や図形（記号等を含む：以下「文字」で代表する）などのキャラクタをアウトラインカットすると共に、不要シート部を前記剥離シートから引き剥がした剥離済みシートにアプリケーションシートを貼着する切抜き文字作成装置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

本発明は、貼着対象物に貼着後の各切抜き文字が所望のレイアウトの文字列となるように、各切抜き文字およびその背景並びにそれらの貼着レイアウトを容易に設定可能な切抜き文字作成装置を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

本発明の切抜き文字作成装置は、剥離シート上にシート本体を積層したハーフカット用シートの当該シート本体に対して、切抜き対象となるキャラクタを複数含むキャラクタ列の各キャラクタをアウトラインカットする切抜き文字作成装置であって、前記キャラクタ列の各キャラクタを貼着対象物に貼着するときの前記キャラクタ列のレイアウトの形態を、貼付対象領域の外周を示すアウトラインイメージに基づく貼着レイアウトパターンとして、複数種類記憶する貼着レイアウトパターン記憶手段と、前記複数種類の貼着レイアウトパターンのうちの任意の 1 を選択する貼着レイアウトパターン選択手段と、前記キャラクタ列を入力するキャラクタ入力手段と、選択された貼着レイアウトパターンのアウトラインイメージを貼着レイアウトアウトラインとして、前記シート本体の表面に想定する貼着レイアウトアウトライン想定手段と、想定された前記貼着レイアウトアウトライン内に、入力されたキャラクタ列の各キャラクタの配置を想定する各キャラクタ配置想定手段と、想定された各キャラクタの配置に基づいて、各キャラクタをアウトラインカットするためのカットラインを決定する各キャラクタカットライン決定手段と、決定された前記カットラインに従って、前記キャラクタ列の各キャラクタをアウトラインカットする個別キャラクタカットを行う個別キャラクタカット手段と、前記キャラクタカットを行うハーフカット用シートとは別のハーフカット用シートのシート本体に対して、前記想定された貼着レイアウトアウトラインをアウトラインカットして背景として切り抜く背景カットを行う背景カット手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

また、本発明の切抜き文字作成方法は、剥離シート上にシート本体を積層したハーフカッ

ト用シートの当該シート本体に対して、切抜き対象となるキャラクタを複数含むキャラクタ列の各キャラクタをアウトラインカットする切抜き文字作成方法であって、前記キャラクタ列の各キャラクタを貼着対象物に貼着するときの前記キャラクタ列のレイアウトの形態を、貼付対象領域の外周を示すアウトラインイメージに基づく貼着レイアウトパターンとして、複数種類記憶する貼着レイアウトパターン記憶工程と、前記複数種類の貼着レイアウトパターンのうちの任意の1を選択する貼着レイアウトパターン選択工程と、前記キャラクタ列を入力するキャラクタ入力工程と、選択された貼着レイアウトパターンのアウトラインイメージを貼着レイアウトアウトラインとして、前記シート本体の表面に想定する貼着レイアウトアウトライン想定工程と、想定された前記貼着レイアウトアウトライン内に、入力されたキャラクタ列の各キャラクタの配置を想定する各キャラクタ配置想定工程と、想定された各キャラクタの配置に基づいて、各キャラクタをアウトラインカットするためのカットラインを決定する各キャラクタカットライン決定工程と、決定された前記カットラインに従って、前記キャラクタ列の各キャラクタをアウトラインカットする個別キャラクタカットを行う個別キャラクタカット工程と、前記キャラクタカットを行うハーフカット用シートとは別のハーフカット用シートのシート本体に対して、前記想定された貼着レイアウトアウトラインをアウトラインカットして背景として切り抜く背景カットを行う背景カット工程と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、上述の切抜き文字作成装置において、前記背景カットによって切り抜かれたシート本体上に、前記個別キャラクタカットによって切り抜かれた各キャラクタを重ね合わせて貼る重ね貼り手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、上述の切抜き文字作成方法において、前記背景カットによって切り抜かれたシート本体上に、前記個別キャラクタカットによって切り抜かれた各キャラクタを重ね合わせて貼る重ね貼り工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記背景カット手段は、前記貼着レイアウトアウトライン内から前記キャラクタ列のネガを不要シート部として削除するキャラクタ列ネガカット手段を有し、前記背景カットによって切り抜かれたシート本体のうちの削除された前記キャラクタ列のネガ部分に、前記個別キャラクタカットによって切り抜かれた各キャラクタのポジを埋め込むように貼る合成貼り手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記背景カット手段は、前記貼着レイアウトアウトライン内から前記キャラクタ列のネガを不要シート部として削除するキャラクタ列ネガカット工程を有し、前記背景カットによって切り抜かれたシート本体のうちの削除された前記キャラクタ列のネガ部分に、前記個別キャラクタカットによって切り抜かれた各キャラクタのボジを埋め込むように貼る合成貼り工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記複数種類の貼着レイアウトパターンには、外周に長方形、台形、円弧、波形、またはそれらのいずれかの一部を含む貼付対象領域を示すアウトラインイメージに基づく種類が含まれることが好ましい。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記複数種類の貼着レイアウトパターンには、外周に長方形、台形、円弧、波形、またはそれらのいずれかの一部を含む貼付対象領域を示すアウトラインイメージに基づく種類が含まれることが好ましい。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記複数種類の貼着レイアウトパターンには、前記キャラクタ列の切抜き文字を作成後に、前記キャラクタ列内の任意のキャラクタ間をカットして利用可能な種類が含まれることが好ましい。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記複数種類の貼着レイアウトパターンには、前記キャラクタ列の切抜き文字を作成後に、前記キャラクタ列内の任意のキャラクタ間をカットして利用可能な種類が含まれることが好ましい。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記キャラクタ列の各キャラクタを連ねる

並び方向と各キャラクタの上下方向とを一致させる縦書きまたは直交させる横書きのいずれかを選択するための縦書き横書き選択手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記キャラクタ列の各キャラクタを連ねる並び方向と各キャラクタの上下方向とを一致させる縦書きまたは直交させる横書きのいずれかを選択するための縦書き横書き選択工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記キャラクタ列の各キャラクタを連ねる並び方向を横方向とした場合の左から右に順に並べる右書きまたは右から左に並べる左書きのいずれかを選択するための右書き左書き選択手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記キャラクタ列の各キャラクタを連ねる並び方向を横方向とした場合の左から右に順に並べる右書きまたは右から左に並べる左書きのいずれかを選択するための右書き左書き選択工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記キャラクタ列の各キャラクタを前記ハーフカット用シートの長手方向に連ねて並べる長手方向配置または幅方向に連ねて並べる幅方向配置のいずれかを選択するための長手方向幅方向配置選択手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記キャラクタ列の各キャラクタを前記ハーフカット用シートの長手方向に連ねて並べる長手方向配置または幅方向に連ねて並べる幅方向配置のいずれかを選択するための長手方向幅方向配置選択工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、入力されたキャラクタ列の鏡像のアウトラインのカットラインを、前記アウトラインカットするためのカットラインとすることを指示可能な鏡像カット指示手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、入力されたキャラクタ列の鏡像のアウトラインのカットラインを、前記アウトラインカットするためのカットラインとすることを指示可能な鏡像カット指示工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記切抜き対象となるキャラクタ列または各キャラクタの書体として、複数種類の書体のうちの任意の1を選択可能な書体選択手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記切抜き対象となるキャラクタ列または各キャラクタの書体として、複数種類の書体のうちの任意の1を選択可能な書体選択工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記切抜き対象となるキャラクタ列または各キャラクタの変形を指示可能なキャラクタ変形指示手段をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

また、上述の各切抜き文字作成方法において、前記切抜き対象となるキャラクタ列または各キャラクタの変形を指示可能なキャラクタ変形指示工程をさらに備えたことが好ましい。

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

また、上述の各切抜き文字作成装置において、前記複数種類の貼着レイアウトパターンの選択肢を示す参照用シートまたは参照用ラベルを、前記貼着レイアウトパターン選択手段の近傍に配設または貼付したことが好ましい。

【手続補正 28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0121

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0121】

【発明の効果】

上述のように、本発明の切抜き文字作成装置によれば、貼着対象物に貼着後の各切抜き文字が所望のレイアウトの文字列となるように、各切抜き文字およびその背景並びにそれらの貼着レイアウトを容易に設定可能となる、などの効果がある。